

Point

J R 東海 労 大阪修繕車両所分会分会情報
No. 82 2010. 11. 10.
発行責任者 坂東 貞男
編集責任者 教 宣 部

皆さん知っていました？！

「チェックシートのない作業はしないが大原則」！！

10月26日、東海労新幹線関西地本と関西支社間で、大阪修繕車両所分会と大阪仕業検査車両所分会からの「チェックシート」に関する申し入れの業務委員会が開催されました。以下が業務委員会でのやり取りです。

《若干のやり取り》 (関西業務ニュースNo.138より抜粋)

組合:チェックシート導入の目的を明らかにせよ。

会社:車両の品質を保証するために導入した。

組合:今までにもあった。今回一気に(大量に)増えた。その理由は。

会社:車両の品質を保証するため。

【現場のチェックシートに対する印象は、勿論品質保証ということは理解しているが、現実にはあら探し・犯人捜しのツールという感じがしている】

組合:「今までがまずかったから今回増えた」と言うのならわかるが、今までを否定しないで一気に増えたのは理解できない。

会社:1月29日の作業にチェックシートがなかったので「チェックシートのない作業はしない」となった。

【初耳ですね、確かに汎用チェックシートなどを用意はするが「チェックシートのない作業はしない」とはいつから決まったの?!】

組合:今までのチェックシートに問題があったから全ての作業にチェックシートを設けたのではないか。

会社:今までのチェックシートに問題はない。より確実に作業を行うため。

【「…問題はない」って、ではなぜスリ板交換チェックシートの作業者のみの確認でも良かったところがなくなったの!】

組合:1月29日の作業には汎用性(のチェックシート)も使われていなかったのか。

会社:使っていなかった。チェックシートのフォーマットは統一している。全く一緒じゃないものもある。ライニングやTC等は同じ。

【「…フォーマットは統一している」って、なぜチェックシートによってかなり違う部分があるがいったい何を統一したのですか?】

組合:周知方法は統一しているのか。

会社:現場判断である。

【「現場判断」って、せっかくチェックシートを統一したとしていてなぜ周知方法も統一しないの、だから8月の仕業検査車両所での不十分な訓練で舟体異常を発生させたのでは?】

組合:見本・例はどうか。

会社:見本のあるところ無いところ、説明会をしたところもある。現場判断である。

【「現場判断」って、責任転嫁はよくないですよ?!】

組合:チェックシートに作業者、確認者が一人なのに同じ名前を何カ所も書くことは非効率である。

会社:意識を明確にするために書いてもらう。

組合:一人作業でペンの色を使い分けたりするのは記号が違うのだから非効率である。

会社:意識を明確にするためにやってもらう。

【「意識、意識」って、精神論じゃ安全は守れませんよ、作業者の負担を軽減し、作業しやすいようにすることも安全にとって大事なことですよ!】

組合:名前を何度も書くことや、ペンの色を使い分けるのが意識を明確することになるのか。意識を明確にすることとは別のものとする。やめること。

会社:やってもらう。

【「やってもらう」と言うならチェック用の色ペンぐらい個人貸与したらどうですか!】

組合:各チェックシートの保管はどうなっているのか。

会社:保管している。一定の期間(年単位)。

【毎日の大量の書面を保管するために、私たちのロッカー室は狭いのか?】

組合:査定について回答になっていない。チェック漏れを査定の対象にしないこと。

会社:査定しないとは言わない。確実な作業をして下さい。

組合:作業責任者は作業者でも確認者でもなく、チェックもしないのに名前を書くが、責任はどうなるのか。

会社:実作業を行うのではない。責任者である。チェックするのも仕事である。

組合:アリス導入はペーパーレスが目的ではなかったのか。

会社:アリスとチェックシートはそもそも違うものである。ペーパーレスはチェックシートの事を言っていない。アリスは作業の実績を残す。チェックシートは確実な作業で正しいチェックで車両の品質を保証する。

組合:分割準備でチェックシートを書かせている。あくまで取り外しであり、取付ではない。チェックシートの記入をやめること。

会社:意見があったことは聞いておく。【「聞いておく」だけじゃなくて、実行をお願いします】

組合:チェックシートによって作業責任者の欄があるものとないものがある。

会社:知らない。【「知らない」ですまされることではないのでは?】

組合:チェックモレがあった場合、すでに車両が出庫している場合など具体的に。

会社:状況により判断する。【つまり運用優先と言うことでしょうか?!】

組合:記入漏れがあった場合の対応で、現場管理者は「どこまでも追ってまいります」と言っている。

会社:基本は回答の通りだが気構えとしてはその通りである。それだけ重要な仕事をしていると認識してほしい。

組合:個別のチェックシートについて。

会社:個別の話はしない。

組合:何種類のチェックシートが増えたのか。

会社:把握していない。

組合:チェックシートの問題点などは上がっているのか。改善されているのか。

会社:上がってきている。問題があれば「改善提案」などで出してほしい。

組合:チェックシートを責任追及のために使わないこと。今後は各車両所に出向いて現場社員の声を積極的に聞き、現場社員の作業がやりやすい様に尊重すること。現場に会社の考え方を伝え、問題があれば申し入れる。

私たち大阪修繕車両所分会は、安全のためにチェックシートは必要なものとは思いますが、チェックシートだけでは安全守れないと思います。先日他所でトルクレンチのトルクが違っていたと連絡がありましたが、これはチェックシートで防げる問題ではありません。従ってイタズラにチェックシートにこだわって作業者に負担を強い